

包括連携協定を締結した後、記念撮影する関係者



## 二人三脚でチーム強化図る オムロンハンド部と包括連携協定

ハンドボール女子日本リーグの強豪オムロンと本学が2日（木）、選手の競技力向上やけが予防、教育・研究等に関する包括連携協定を締結しました。本学がスポーツ選手の競技力向上や障害予防をメインとした包括連携協定を結ぶのは、1月の鶴屋百貨店（女子バスケットボール部）に続き2件目です。

調印式は、チームが本拠地とする山鹿市のオムロン鹿陽センターでありました。ハンドボール部の勝田祥子GMが「連携の提案に感謝します。今後も連携を強固なものとするためにご協力を願います」、竹屋元裕学長が「協定を通じお互いにWin Winの関係を構築していきたい」とあいさつし、木下統晴理事長、牧圭一郎オムロンリレーアンドデバイス社長、水野裕紀監督ら関係者が見守る中、それぞれ協定書に署名しました。

今後、健康・スポーツ教育研究センターが選手個々の身体機能や体組成等を測定しデータベース化を図ります。シーズンを通じてチームの競技力向上やけが予防、効果的なりハビリにつなげていくだけでなく、スポーツ現場で使用可能な動作解析ツールの開発、障害発生リスクの予測といった研究にも取り組みます。また、理学療法士やスポーツトレーナーを目指す学生が経験を積む場にもしていきます。

オムロンは、日本リーグで17回、日本選手権で18回と共に最多の優勝回数を誇り、数多くの日本代表を輩出してきました。現在開催

障害予防、  
リハビリにも期待

中の日本リーグでは2位につけており、9シーズンぶりの女王の座奪回を目指しています。本学との二人三脚でのチーム強化について、かつてゴールキーパーとして活躍した勝田GMは「ハンドボールの戦術面での研究は進んでいますが、動作解析やけが予防はこれからの分野。2月中にも具体的な取り組みについて打ち合わせを行い、新シーズンにつなげたい」と話していました。（NL編集班）



協定書に署名する竹屋学長（左）とオムロンハンドボール部の勝田GM

リハビリテーション学科理学療法学専攻の久保下亮講師が1月、日本車いす協会のナショナルトレーナーとして、同協会強化指定選手のオーストラリア遠征に帯同しました。真夏のオーストラリアでの活動の様子を寄稿してもらいました。

## 日本車いすテニス協会の豪州遠征に帯同

リハ学科理学療法学専攻 久保下 亮講師

真夏の地でトップ選手を支える



コート上で選手とトレーニングをする久保下講師（右）

1月5日～22日にオーストラリアで開かれた車いすテニスの「2023 Australian Wheelchair Summer Series」に日本車いすテニス協会のナショナルトレーナーとして日本チームの遠征に帯同しました。遠征中は、「VICTORIAN OPEN」と「MELBOURNE OPEN」の2大会に出場する日本の強化指定選手9人に3人のトレーナーが対応しました。

トレーナーの活動は、朝8時にシャトルバスで大会会場（テニスコート）へ行き、午後8時前後まで大会会場で強化指定選手のウォーミングアップやトレーニング、テーピング、アイシング、ケアなど、複数の選手を相手に動き回っています。そして、夜ホテルに戻ってから10時前後まで選手のケアを行っていました。

いずれの大会も全豪オープンの前哨戦と位置づけられているため、世界各国からランキング上位の選手が出場しハイレベルな戦いが繰り広げられました。また、各国のトップ選手やコーチ、そして日本のトップクラスの選手やコーチ、トレーナーと時を共にし、様々な角度からの知見を共有することで、トレーナーとして自分自身の知識と技術の幅を広げることができました。

真夏のオーストラリアで経験してきたことを、今後の学生教育の中に反映させていき、一人でも多くの学生の役に立てるよう頑張っていきます。

## 高品質の医薬品を確実に製造

### ワークショップ開催 グループ討議通じシステム理解

「医薬品品質システムの導入、構築及び運用に関するワークショップ」が1月30日（月）、150IM講義室で開催され、39人が参加、Zoomでも約170人が聴講しました。

本ワークショップは、高品質の医薬品をより確実に製造するための仕組みである医薬品品質システムに対する理解を深め、適切な運用を実現できる人材を育成することを狙いとしており、厚生労働科学研究班および熊本県薬務衛生課の協力で実現しました。

この日は、製薬企業で医薬品の品質保証業務を担っている実務担当者を対象にディスカッションを中心に進行しました。午前の部では、PMDA医薬品品質管理部の高屋敷均氏が「改正GMP省令の概要」、京都府健康福祉部薬務課の田中良一氏が「マネジメントレビューのあるべき姿」、熊本県薬務衛生課の高濱信利氏が「熊本県におけるGMP関連の指導について」と題してそれぞれ講演しました。

午後の部では、参加者を8グループに分け、厚

生労働科学研究班のメンバーがサポートしながら活発なグループディスカッションが行われました。最後に各グループが討議内容を発表し、参加者で共有して自社の改善に活用することを確認。研究代表者の東京理科大学・櫻井信豪教授の講評で終了しました。（入試・広報課）



グループディスカッションに臨む参加者たち

# 1年次生 堂々のプレゼンテーション

「伝える」スキルの向上を目指した学生たちによるプレゼンテーション実践が1月5日(木)、10日(火)、17日(火)、19日(木)の4日間、看護学科、医学検査学科、リハビリテーション学科理学療法学専攻、同学科生活機能療法学専攻・言語聴覚学専攻の4クラスに分かれて行われました。1年次生を対象とした全学科必修科目「アカデミックスキルⅡ」の一環。学生たちは2分間の持ち時間の中で、スライドを使いながら次々と発表していきま

した。各クラス、スモールグループ(SG)ごとに班を編成。「嗜癖」をテーマに、SGごとに作成した2000字程度の文章の内容をもとに個人で発表資料を作成し、一人一人が演壇に立ちました。各実施日とも、進行はアカデミックスキル支援センターが養成したリーダー学生が務めました。学生たちは緊張の面持ちで壇上に立っていましたが、中には原稿を使わず語り掛けるように堂々とした発表もあり、盛んな拍手を受けていました。

司会進行を務めたリーダー学生たちは「一人一人がクラスメイトの良い所をお互い吸収

して発表していたのが凄く伝わってきた。クラス全体で良くなろうとする雰囲気づくりのきっかけを、自分たちがつくれたと思うと嬉しく感じる」と話していました。

(アカデミックスキル支援センター・松尾健志郎)

## 全学必修科目「アカデミックスキルⅡ」



スライドを巧みに駆使しながら、堂々と発表する生活機能療法学専攻の1年次生

## 今季最終大会に向け念入り調整

### 鶴屋女子バスケ部 協定後初の測定会

健康・スポーツ  
教育研究センター

レポート

股関節外旋の測定をする鶴屋百貨店女子バスケットボール部の選手たち



鶴屋百貨店女子バスケットボール部員を対象とした測定会が1日(水)、本学アリーナで実施され、監督、選手11人が参加しました。同百貨店との包括連携協定締結後初の取り組みで、枝尾久美講師(リハビリテーション学科理学療法学専攻)を中心に7人の教職員が計測を担当。同専攻3年の秋山昂成さんもサポートしました。

身体組成計測と、ウォーミングアップを済ませた後、本格的にスタート。枝尾講師らが着目している数値化しづらい股関節外旋・外転筋力の測定、パワーマックス(エルゴメーター)を用いた瞬発力とパワー、3次元動作解析装置と地面反力計を用いた着地動作の計4種の計測を行いました。股関節外旋筋力の測定では慣れない動作に悲鳴を上げる選手も。パワーマックスでは必死にエルゴメーターを漕ぐ姿が見られました。

チームは3月19日(日)~21日(火)、群馬県高崎市で開かれる今季最後の大会(社会人地域リーグチャンピオンシップ)に臨みます。鹿毛美智子監督は「今回の測定結果を踏まえ、2月中にトレーニングの強度を上げ、3月の大会までにどれだけ伸びるかがポイント」と話していました。次回の測定会は3月初旬を予定しています。(入試・広報課)

## 言語聴覚士の魅力と可能性追求

日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本大会が1月28(土)～29日(日)、本学で開催されました。「言語聴覚士が魅せる可能性の追求～これから我々が果たすべき役割～」というテーマで地域リハビリテーションや学校教育関連のシンポジウム、失語症や小児の心理検査に関するワークショップなどが企画され、約250人が参加しました。

学会Web会場の運営には、共通教育センターの山鹿敏臣先生や言語聴覚学専攻の畑添涼先生が

協力。その他の言語聴覚学専攻の先生方には、座長や演者を引き受けていただき、大会は盛会のうちに終了しました。

また、後期試験期間中にもかかわらず、言語聴覚学専攻2・3年次生の参加もあり、言語聴覚障害学研究の発展や言語聴覚士の明るい未来を切り開く2日間となりました。ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

(大会長・宮本恵美)

## 銀杏アラカルト

■令和5年度一般選抜を実施 4日(土)、日(木)で、大学入学共通テスト利用選抜(前期日程)と併せて発表します。今後は、25日(土)大学院一般選抜・社会人選抜(Ⅱ期)と、3月3日(金)大学入学共通テスト利用選抜(後期日程)を予定しています。(入試・広報課)

## インフォメーション

### 週間行事予定(2月11日～17日)

2 / 17 (金)

ハラスメント防止研修会 (14:30～ Zoom又はI300L講義室)  
心と体の健康づくり研修会 (16:30～ I300L講義室及びWeb配信)